

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2020年2月)

【内政】

- 10日、国家独立選挙委員会(CENA)は、政党憲章の要件を満たした政党の代表者を対象に5月に実施予定の地方議会議員選挙の議席配分について説明を行った。(11日、Le Matinal 紙)
- 18日、コトヌ裁判所控訴審は、2016年大統領選挙時の選挙資金上限額超過の罪でザンス元首相に対し、被選挙権停止4年間、禁固6か月(執行猶予付)、罰金500万CFAフランの有罪判決を言い渡した。同元首相は2021年大統領選挙出馬資格を失った。(19日、Le Matinal 紙)

【外政】

- 第33回AU首脳会議において、ベナンはAU平和・安全保障理事会の理事国に選出された。任期は2020年から2年間で、紛争の予防と管理を任務とする。(11日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- 13日、政府はコロナウイルス対策として、コトヌ空港および主要な港においてサーモグラフィカメラを設置することを閣議決定した。(13日、Le Matinal 紙)

【経済】

- 6日、ウンパティン保健相は、仏企業ブイグ建設インターナショナルと、アボメ・カラヴィ市におけるモデル病院建設に係る署名を行った。同病院は516床を備え、建設費は1,116億CFAフラン(約223億円相当)に上る。建設には3年かかる予定である。(7日、La Nation 紙)
- 18日、小西淳文駐ベナン日本国大使は、天皇誕生日レセプションに係る記者会見を実施し、ベナンにおける日本の経済協力事業を振り返り、今後の展望を示した。(19日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 5日、国民議会は、経済犯罪・テロ取締裁判所(CRIET)に二審制を導入する法案を可決した。(6日、Le Matinal 紙)
- 5日、1月22日に開会した2020年国民議会第一回特別会期が、法案7本を可決して閉会した。(7日、Le Matinal 紙)
- 10日、国家独立選挙委員会(CENA)は、政党憲章の要件を満たした政党の代表者を対象に5月に実施予定の地方議会議員選挙の議席配分について説明を行った。(11日、Le Matinal 紙)

- ・ 10日, アザナイ元前国防担当副大臣率いるRE党の執行部はコトヌにおいて会合を開き, 5月の地方議会議員選挙に参加しないことを決定した。(12日, Le Matinal 紙)
- ・ 17日, 野党FCBE党のウンペ執行委員長は, 5月の地方議会議員選挙に参加することをラジオで宣言した。(19日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 18日, コトヌ裁判所控訴審は, 2016年大統領選挙時の選挙資金上限額超過の罪でザンス元首相に対し, 被選挙権停止4年間, 禁固6か月(執行猶予付), 罰金500万CFAフランの有罪判決を言い渡した。同元首相は2021年大統領選挙出馬資格を失った。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 19日, 1990年2月19日から28日にかけて開催された国民会議の30周年を迎え, タロン大統領をはじめとする各界著名人が声明を発表した。(19日, La Nation 紙)
- ・ 27日, ビオ・チャネ計画・開発相は, パートナー国を対象に科学技術・職業訓練教育に関する国家戦略の実施に向け円卓会議を実施した。(28日, La Nation 紙)

【外政】

- ・ 第33回AU首脳会議において, ベナンはAU平和・安全保障理事会の理事国に選出された。任期は2020年から2年間で, 紛争の予防と管理を任務とする。(11日, La Nation 紙)
- ・ 13日, アベノンシ外務・協力相は, ガーナのアヘンコラ商業副大臣ら一行を迎え, ナイジェリアとベナンの国境封鎖問題について議論した。(14日, La Nation 紙)
- ・ 17日, タロン大統領は, ニジェールのアブブ農業・畜産相一行を迎え, ナイジェリア国境問題について協議した。(18日, Le Matinal 紙)
- ・ 17日, ニューヨークで開催された列国議会同盟(IPU)第74回総会に参加したヴラヴォヌ国民議会議長は, ベナンのSDGsの進捗について報告を行った。(18日, Le Matinal 紙)
- ・ 28日, アベノンシ外務・協力相に対し, チュニジア, ポーランド, エチオピアの新任大使より信任状の写しが提出された。(3月2日, La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 1日, 北部マランヴィル市において, 密輸ガソリンの運搬者の逮捕を契機に, 市民と税関職員が衝突する事件が発生した。市当局の介入により事態は沈静化した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 1日夜, ポルトノボ市において, 共和国警察は, 私立工科大学に通う12歳の生徒を身代金目的で人質に取った誘拐犯4人を逮捕した。身代金は払われることなく, 生徒は無事に解放された。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日夜, 経済社会評議会の副委員長及びUP党の重鎮であるネストール・ワダニ(ロミュアルド・ワダニ経済・財務相の父)のロコサ市の自宅が襲撃された。警備員が襲撃されたが, 本人は不在で無事であった。(6日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 7日, パラク市において13歳の少女を誘拐したとして, 地方議会の女性議員が逮捕された。(18日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 9日, ブルキナファソとの国境地域バニコアラ市において, 警察の派出所が襲撃される事件が発生し, 警官1名が死亡, 1名が重傷を負った。(10日, La Nation 紙)
- ・ 13日, 政府はコロナウイルス対策として, コトヌ空港および主要な港においてサーモグラフィカメラを設置することを閣議決定した。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日, コカイン750kg をコトヌ港から密輸出しようとした容疑でオランダ人男性がナイジェリアにて逮捕され, コトヌに送致された。(23日, Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 4日, 国民議会は電力事業関連の新たな法案を採択した。これにより電気事業が民間企業にも開放されることとなる。(5日, La Nation 紙)
- ・ 5日, 政府は, グロ・ジベ市に 1,414ヘクタールの経済特区を設置することを閣議決定した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, ウンパティン保健相は, 仏企業ブイグ建設インターナショナルと, アボメ・カラヴィ市におけるモデル病院建設に係る署名を行った。同病院は516床を備え, 建設費は1,116億CFAフラン(約223億円相当)に上る。建設には3年かかる予定である。(7日, La Nation 紙)
- ・ 7日, ベナン商工会議所(CCIB)の新執行部が2025年までの任期で就任した。会頭には, ガソリン販売業者JNPの社長アルノルド・アカボが就任した。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 17日, ケレク中小企業・雇用促進相とガンベAPIEX局長は, インターネット上で会社を創設できるプラットフォームの開始を宣言した。(18日, La Nation 紙)
- ・ ベナン国立統計・経済分析研究所による雇用及びインフォーマル・セクターに関する調査が昨年12月に公表され, ベナン人の生産年齢人口の95.3%がインフォーマル・セクターで働いていることが明らかになった。(18日, L'Économiste 紙)
- ・ 18日, 小西淳文駐ベナン日本国大使は, 天皇誕生日レセプションに係る記者会見を実施し, ベナンにおける日本の経済協力事業を振り返り, 今後の展望を示した。(19日, La Nation 紙)
- ・ 19日, アフリカにおけるICT分野の発展を目的とする閣僚級会合 Transform Africa Summit 2020 に向け, 実務者会合がコトヌ市で開催された。日本からは総務省が参加した。(20日, La Nation 紙)
- ・ 22日, 日本での国費留学生・JICA研修生から成る同窓会2A2BJは年次総会を開催し, 2019年の活動報告及び総括を行った。(24日, Le Matin Libre 紙)
- ・ コトヌ自治港の発表によれば, 2019年の同港の商品取引量は1,009万トンであり, 2018年の1,028万トンに比べ0.9%の減少であることがわかった。(25日, L'Économiste 紙)
- ・ 27日, 小西淳文駐ベナン日本国大使は日本の支援により建設された紛争後地域における地雷・不発弾処理訓練センター(CPAD)の完工式に出席した。(3月4日, L'Économiste 紙)
- ・ 28日, 日本が支援するベナン人自動車整備工対象の職業訓練プログラムの開校式が小西淳文駐ベナン日本国大使, カッポ中等・技術教育・職業訓練相, 笹館JICAベナン支所長, オデウドCFAO Motors社長の出席の下開催された。(3月2日, Le Matinal 紙)

【文化・その他】

- ・ 7-9日, モロッコで開催された空手アフリカ選手権が開催され, ベナン人3選手(オセアヌ・ガニエロ, シラディウ・ディアロ, パドヌ・マーシャル)が銅メダルを獲得した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 24日, アビンボラ観光・文化・芸術相は, ウィダ市にある観光施設ポルトガル要塞の復興作業の着工式に出席した。復興作業は10か月かかる見込みである。(25日, La Nation 紙)
- ・ 26日, オメキ・スポーツ相は, ベナン人アスリートの環境改善のため, 民間企業からの出資を募りスポーツ会社を設立する展望を示した。251日, Le Matinal 紙)